

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名> 心停止蘇生後の脳傷害における CT 画像を用いた脳萎縮の探索的後方視研究</p>
<p><研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野（研究責任者）杉田篤紀</p>
<p><研究期間> 承認日 ~ 西暦 2019 年 3 月 31 日</p>
<p><研究の目的と意義> 救命法と AED の普及により突然の心肺停止から蘇生に成功する患者さんが増えています。しかし、蘇生に成功して救命センターで入院となっても殆どの場合、意識障害が続いて社会復帰の妨げとなります。本研究では当院で搬送された院外心肺停止患者のうち蘇生に成功した症例を集積し、対象となる患者さんの診療録や採血や画像診断などの検査結果を分析しながら心肺停止蘇生後の社会復帰改善を目指した病態の解析を行います。</p>
<p><利用する試料・情報の項目> 本研究では CT などの画像診断や血液などの検査データを研究のための資料や情報として活用いたします。対象となる院外心肺停止患者さんの診療録や CT 画像や血液などの検査データを利用して入院時の身体所見や検査所見(血液や画像検査など)、治療経過および転帰に関する情報を個人情報に関するデータを削除した上で、集積・解析を行います。</p>
<p><対象となる患者さん> 西暦 2011 年 1 月 1 日～西暦 2013 年 7 月 31 日の期間に当院救命センターで院外心肺停止蘇生後の治療を開始された方</p>
<p><研究の方法> 本研究方法は後ろ向き観察研究です。蘇生に成功した院外心肺停止として当院救命センターへ入院された患者さんの診療情報を基に、心停止蘇生後の脳の状態と血液検査から得られる情報や最終的な神経学的転帰と比較します。</p>
<p><お問い合わせ窓口> 日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野(東京都板橋区大谷口上町 30-1) 氏名:杉田篤紀 電話:03-3972-8111 内線:(医局)2828</p>